

(別紙4)

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		世羅中央病院企業団							
プ ラ ン の 名 称		公立世羅中央病院 経営改革プラン(中期経営計画)							
策 定 日		平成 21年 3 月 23 日							
対 象 期 間		平成 21年度				平成 25年度			
病院 の 現 状	病 院 名	世羅中央病院企業団 公立世羅中央病院							
	所 在 地	広島県世羅郡世羅町大字本郷918－3							
	病 床 数	110床							
	診 療 科 目	内科・神経内科・外科・小児科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科・歯科・口腔外科・矯正歯科							
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		○近隣の旧5町(甲山町、世羅町、世羅西町、大和町、久井町)を中心とした地域における中山間医療の拠点病院として活動していく。 ○圏域内唯一の救急告示病院として、24時間体制で救急医療を担う。 ○外科、整形外科を中心に、手術など地域の他の施設で対応できない医療を提供する。 ○診療圏を同じにする三原市立くい市民病院と組織再編し、地域医療確保に向けた効率的な診療体制を整備していく。							
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		① 建設改良に要する経費(企業債償還金に要する経費)⇒建設改良費、企業債元利償還金の2分の1 ② 救急医療の確保に要する経費 ⇒ 当直医師費用(病院職員、応援医師)、一部空床補償費用 ③ 保健衛生行政事務に要する経費 ⇒ 遺失補償(保険診療以外の小中学校の健康診断、健診事業、糖尿病教室、介護予防事業に係る人件費) ④ 医師、看護師等の研究に要する経費 ⇒ 経費の2分の1 ⑤ 病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費 ⑥ 基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費 ⇒ 共済組合通知額 ⑦ 児童手当に要する経費 ⇒ 3歳から小学校6年生終了までの児童対象特例給付 ⑧ 企業債利子に係る経費 ⇒ 経費の2分の1 ⑨ 不採算地区病院運営に要する経費 ⇒ 病床あたり680千円 ⑩ 高度医療に要する経費 ⇒ 高度医療機器の賃借料、保守料							
経営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
	医業収支比率(%)	99.9%	95.6%	96.7%	97.7%	97.9%	99.9%	100.8%	
	経常収支比率(%)	100.1%	96.3%	97.3%	98.3%	98.4%	100.3%	101.2%	
	病床利用率(%) 一般、療養含む	98.5%	97.9%	95.6%	95.6%	90.8%	93.2%	93.2%	
	病床稼働率(%) 一般、療養含む	103.4%	102.8%	100.4%	100.4%	94.5%	96.9%	96.9%	23年度は増床後
	平均在院日数(日)	21	20	20	20	20	19	19	一般病床
	患者1人1日診療収入(入院:一般)	30,646	29,135	30,123	30,822	31,022	31,130	31,130	医科合計
	患者1人1日診療収入(入院:療養)	0	0	0	0	16,400	16,400	16,400	
	患者1人1日診療収入(外来)	6,011	5,782	5,953	6,154	6,232	6,232	6,212	医科合計
	医師1人1日診療収入(円)	531,574	474,506	438,044	381,564	382,633	410,357	410,357	医業収益(常勤換算)
	職員1人1日診療収入(円)	41,735	41,176	41,291	41,541	37,488	40,204	40,204	
	査定率(%)	1.41%	0.78%	0.60%	0.50%	0.40%	0.30%	0.30%	総額/診療収益
	返戻率(%)	2.12%	1.31%	1.00%	0.90%	0.80%	0.70%	0.70%	総額/診療収益
	給与費 対医業収益比率(%)	45.5%	49.3%	49.7%	50.5%	50.0%	49.5%	49.5%	
	労務費 対医業収益比率(%)	54.6%	58.8%	59.1%	59.6%	59.3%	58.2%	58.2%	給与・報償・委託費
	材料費 対医業収益比率(%)	23.8%	21.7%	21.5%	21.3%	21.1%	20.3%	20.3%	
	医薬品費 対医業収益比率(%)	16.3%	14.0%	14.0%	13.8%	13.6%	13.0%	13.0%	
上記目標数値設定の考え方		平成21年度中に、三原市立くい市民病院と組織再編し(企業団)、平成23年度中に当院へ入院機能を集約する(増床工事実施、くい市民病院は無床診療所へ)で、両施設の経営効率化を図る。 任意項目は生産性向上、収支改善の視点で選択した。 (経常黒字化の目標年度: 平成24年度)							

					団体名 (病院名)	世羅中央病院企業団 (公立世羅中央病院)			
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
救急搬送件数(年間)		437	450	450	450	450	450	450	
手術件数(年間)		270	270	270	300	300	300	300	手術室実施レベル
CT撮影件数(診療日1日あたり)		13	13	16	16	18	18	18	
MRI撮影件数(診療日1日あたり)		5	5	8	8	10	10	10	
リハビリ単位数(技師1人1週)		40	40	70	80	90	100	108	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	○医療事務業務について、全面的に民間委託化実施(平成17年) ○外来投薬の院外処方化実施(平成17年) ○目標管理の導入・推進 ○経営会議等のあり方、進め方について見直しをおこない、意思決定を適切におこなっていく。						
		事業規模・形態の見直し	○平成19年4月より地方公営企業法の全部適用を実施し、平成20年度には、外部(広島大学)から企業団の企業長を迎えている。 ○診療圏を同じにする近接の三原市立くい市民病院と組織再編し、平成23年度において三原市立くい市民病院は無床診療所化するとともに、入院機能を当院へ集約する方針で検討していく。(110床⇒155床) その目的は、両院の診療圏である世羅町、三原市北部を中心とした中山間地において、医療資源を効率的に配置し経営基盤の安定を図り、必要な地域医療の確保・継続を目指すことにある。						
		経費削減・抑制対策	○調理師や看護助手などの嘱託化、パート化を進める。 ○様々な物品の購入・交渉窓口を一本化(平成21年度)し効率的・効果的な購買管理を目指す。 ○病棟での定数配置薬や造影剤など、在庫管理、定数のあり方を定期的(最低年1回)に見直していく。 ○薬剤、診療材料を中心に、見積もり合わせや納入業者集約化などを検討する。(平成21年度より) ○現在外部委託している医療事務業務、設備管理業務、清掃業務等につき、職員との役割分担、仕様書の見直し、他院の事例収集、価格交渉などをおこない(事業者変更も念頭に置き)、費用適正化を図る。 ○医療機器修理費について、病院側が要執する見積もり明細を記載してもらい、業者間で項目別に比較するなどする。また、修理の要不要判断の1次チェックを臨床工学技士が実施することを検討する。(平成21年度)						
		収入増加・確保対策	○医事課を中心に、査定、返戻の分析精度を上げるとともに具体的な対策と徹底方法を提示していく。(保険別、入外別、事由別、医師別など) ○診療報酬請求精度の定期的なチェックを実施していく。 ○医師以外が関与する医学管理料の算定見直し、技術部門の生産性向上を図る。 ○再編後、療養病床の移設により、一般病床の在院日数短縮を図る。						
		その他	○基本的な接遇研修、或いはカンファレンスなどを通じた基礎的な教育研修や病院外部での専門的な研修を積極的に取り入れ、職員のモチベーションや満足度の向上を図る。 ○業務改善ワーキング等を立ち上げ、部門間、職種間のコミュニケーションを密にすることで業務の一層の効率化やチームとしての活動を通じた質の向上を図る。						
	各年度の収支計画		別紙1のとおり						
その他の特記事項	病床利用率の状況		17年度	98.20%	18年度	101.80%	19年度	103.10%	
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等		当院と三原市立くい市民病院の企業団として組織再編後、当院へ病床を集約する方針で検討を進める。 行政等における検討過程終了後、平成23年度上期中の完成を目指し改修工事を実施することとしたい。 (工事費用未定)						

		<table border="1"> <tr> <td>団体名 (病院名)</td> <td>世羅中央病院企業団 (公立世羅中央病院)</td> </tr> </table>	団体名 (病院名)	世羅中央病院企業団 (公立世羅中央病院)
団体名 (病院名)	世羅中央病院企業団 (公立世羅中央病院)			
再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	<p>当院が所在する世羅町及び三原市北部には、公立病院が当院と三原市立くいき市民病院(45床)の2件と三原市立大和診療所が存在する。</p> <p>尾三2次医療圏では、尾道市立市民病院、尾道市立みつぎ総合病院等の公立病院がある。</p>		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	<p>平成20年3月に出された広島県保健医療計画においては、機能分化と連携を推進する医療体制の構築に向けて、「地域医療の機能分化と役割分担」「高度医療の機能分化と役割分担」および「医療資源の集約化・重点化の推進と医療連携」の考え方が取りまとめられている。</p>		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<table border="1"> <tr> <td> <p>&lt;時 期&gt; 平成20年度</p> <p>平成21年度中</p> <p>平成23年度下期</p> </td> <td> <p>&lt;内 容&gt; 「公立世羅中央病院改革プラン策定委員会」にて当院と三原市立くいき市民病院の企業団として再編する方向性で結論。(両行政、両病院、地域住民で構成)</p> <p>当院と三原市立くいき市民病院の企業団としての再編検討。年度中に結論予定。 (両行政、議会、その他関係機関を想定)</p> <p>三原市立くいき市民を無床診療所化(45床⇒0床) 当院へ病床を集約(110床⇒155床) 両施設ともに新しい施設での診療開始へ。</p> </td> </tr> </table>	<p>&lt;時 期&gt; 平成20年度</p> <p>平成21年度中</p> <p>平成23年度下期</p>	<p>&lt;内 容&gt; 「公立世羅中央病院改革プラン策定委員会」にて当院と三原市立くいき市民病院の企業団として再編する方向性で結論。(両行政、両病院、地域住民で構成)</p> <p>当院と三原市立くいき市民病院の企業団としての再編検討。年度中に結論予定。 (両行政、議会、その他関係機関を想定)</p> <p>三原市立くいき市民を無床診療所化(45床⇒0床) 当院へ病床を集約(110床⇒155床) 両施設ともに新しい施設での診療開始へ。</p>
<p>&lt;時 期&gt; 平成20年度</p> <p>平成21年度中</p> <p>平成23年度下期</p>	<p>&lt;内 容&gt; 「公立世羅中央病院改革プラン策定委員会」にて当院と三原市立くいき市民病院の企業団として再編する方向性で結論。(両行政、両病院、地域住民で構成)</p> <p>当院と三原市立くいき市民病院の企業団としての再編検討。年度中に結論予定。 (両行政、議会、その他関係機関を想定)</p> <p>三原市立くいき市民を無床診療所化(45床⇒0床) 当院へ病床を集約(110床⇒155床) 両施設ともに新しい施設での診療開始へ。</p>			
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合		
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡		
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<table border="1"> <tr> <td> <p>&lt;時 期&gt; 平成20年度</p> <p>平成21年度～25年度</p> </td> <td> <p>&lt;内 容&gt; ①現在のところ経営責任の所在、予算執行、各種契約条件、給与体系或いは人材確保等への対応について、ある程度柔軟な対応をおこなうことができ、三原市立くいき市民病院との再編後に至っても当面は企業団として地方公営企業法全部適用下での運営をおこなっていくこととする。 ②外部委員などを交えた「経営検討委員会(仮)」を設置し、定期的な点検と評価を求めていくこととし、計画の進捗状況によっては経営形態のあり方を再検討していく。 ③現在のところ、2回／年間の委員会開催を想定し、随時必要に応じて検討をおこなう。</p> </td> </tr> </table>	<p>&lt;時 期&gt; 平成20年度</p> <p>平成21年度～25年度</p>	<p>&lt;内 容&gt; ①現在のところ経営責任の所在、予算執行、各種契約条件、給与体系或いは人材確保等への対応について、ある程度柔軟な対応をおこなうことができ、三原市立くいき市民病院との再編後に至っても当面は企業団として地方公営企業法全部適用下での運営をおこなっていくこととする。 ②外部委員などを交えた「経営検討委員会(仮)」を設置し、定期的な点検と評価を求めていくこととし、計画の進捗状況によっては経営形態のあり方を再検討していく。 ③現在のところ、2回／年間の委員会開催を想定し、随時必要に応じて検討をおこなう。</p>
	<p>&lt;時 期&gt; 平成20年度</p> <p>平成21年度～25年度</p>	<p>&lt;内 容&gt; ①現在のところ経営責任の所在、予算執行、各種契約条件、給与体系或いは人材確保等への対応について、ある程度柔軟な対応をおこなうことができ、三原市立くいき市民病院との再編後に至っても当面は企業団として地方公営企業法全部適用下での運営をおこなっていくこととする。 ②外部委員などを交えた「経営検討委員会(仮)」を設置し、定期的な点検と評価を求めていくこととし、計画の進捗状況によっては経営形態のあり方を再検討していく。 ③現在のところ、2回／年間の委員会開催を想定し、随時必要に応じて検討をおこなう。</p>		
点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	<p>○経営検討委員会(仮)設置 先に2病院の再編を検討した「公立世羅中央病院・三原市立くいき市民病院改革プラン策定検討委員会」に両首長を加えたメンバーを候補とし、必要に応じて、外部の専門家、有識者を交えることを検討する。(開催は定期として2回／年間)</p>			
点検・評価・公表等	<p>点検・評価の時期(毎年〇月頃等)</p>	<p>年に2回点検・評価を実施予定(上期ならびに年度決算確定時を予定、具体的な開催月は委員会設置後決定)。 結果については、毎年議会に報告するとともに、ホームページで公表。</p>		
その他特記事項				

(別紙)

団体名 (病院名)	世羅中央病院企業団 (公立世羅中央病院)
--------------	-------------------------

## 1. 収支計画（収益的収支）

(単位: 百万円、%)

年度 区分		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収入	1. 医 業 収 益 a	1,719	1,843	1,819	1,839	1,880	2,025	2,172	2,172
	(1) 料 金 収 入	1,542	1,625	1,601	1,622	1,663	1,800	1,938	1,938
	(2) そ の 他	177	218	218	217	217	225	234	234
	うち 他 会 計 負 担 金	73	111	111	111	111	111	111	111
	2. 医 業 外 収 益	153	110	102	101	99	103	101	100
	(1) 他 会 計 負 担 金・補 助 金	93	54	57	57	57	57	57	57
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	4	3	1	1	1	1	1	1
	(3) そ の 他	56	53	44	43	41	45	43	42
	経 常 収 益 (A)	1,872	1,953	1,921	1,940	1,979	2,128	2,273	2,272
	1. 医 業 費 用 b	1,751	1,845	1,902	1,902	1,925	2,068	2,174	2,155
支出	(1) 職 員 給 与 費 c	788	840	897	913	949	1,012	1,075	1,075
	(2) 材 料 費	384	439	394	395	400	426	440	440
	(3) 経 費	345	355	406	397	387	425	457	457
	(4) 減 価 償 却 費	206	186	179	171	163	173	170	151
	(5) そ の 他	28	25	26	26	26	32	32	32
	2. 医 業 外 費 用	107	107	94	93	89	94	92	90
	(1) 支 払 利 息	71	69	57	56	52	57	55	53
	(2) そ の 他	36	38	37	37	37	37	37	37
	経 常 費 用 (B)	1,858	1,952	1,996	1,995	2,014	2,162	2,266	2,245
	経 常 損 益 (A)－(B) (C)	14	1	-75	-55	-35	-34	7	27
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D)－(E) (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)＋(F)		14	1	-75	-55	-35	-34	7	27
累 積 欠 損 金 (G)									
不良債権	流 動 資 産 (ア)	2,010	2,066	1,991	1,936	2,241	1,867	1,874	1,901
	流 動 負 債 (イ)	107	92	92	92	92	92	92	92
	うち 一 時 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)	0	0	0	0	340	0	0	0
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ)	0	0	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 権 差 引 [(イ)－(エ)]－[(ア)－(ウ)]		-1,903	-1,973	-1,899	-1,844	-1,809	-1,775	-1,782	-1,809
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)		-	-70	74	55	35	34	-7	-27
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		100.8	100.1	96.3	97.3	98.3	98.4	100.3	101.2
不 良 債 権 比 率 $\frac{(イ)}{(ア)} \times 100$		-110.7	-107.1	-104.4	-100.3	-96.2	-87.7	-82.0	-83.3
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		98.2	99.9	95.6	96.7	97.7	97.9	99.9	100.8
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		45.8	45.5	49.3	49.7	50.5	50.0	49.5	49.5
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		0	0	0	0	0	0	0	0
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$									
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率									
病 床 利 用 率		101.8	98.5	97.9	95.6	95.6	90.8	93.2	93.2

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」＝「N年度の不良債務額」－「N－1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合（不良債務が発生しない場合）においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」＝「22年度不良債務額▲20百万円」－「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	世羅中央病院企業団 (公立世羅中央病院)
--------------	-------------------------

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
区分									
収 入	1. 企 業 債	0	93	0	0	340	0	0	0
	2. 他 会 計 出 資 金	68	92	78	76	78	48	49	50
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	28	10	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	0	0	22	3	3	3	0	3
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	340	0	0
	収 入 計 (a)	68	185	128	89	421	391	49	53
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	340	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
支 出	純計(a)-(b)+(c) (A)	68	185	128	89	81	391	49	53
	1. 建 設 改 良 費	74	71	53	20	20	360	20	20
	2. 企 業 債 償 還 金	102	231	125	138	126	97	99	101
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	2	1	1	1	1	1
	支 出 計 (B)	176	302	180	159	147	458	120	122
	差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	108	117	52	70	66	67	71	69
	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	108	117	52	70	66	67	71	69
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
補 て ん 財 源	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	108	117	52	70	66	67	71	69
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収 益 的 収 支	(0) 170	(0) 168	(0) 169	(0) 169	(0) 169	(0) 169	(0) 169	(0) 169
資 本 的 収 支	(0) 68	(0) 92	(0) 128	(0) 89	(0) 81	(0) 51	(0) 49	(0) 53
合 計	(0) 238	(0) 260	0 297	(0) 258	(0) 250	(0) 220	(0) 218	(0) 222

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。